五木東小

第16号

学校便り
文責
生田　文明

今日の昼食は　鯵（アジ）づくし　～親子料理教室～

九月二十八日に、県漁連、天草魚協のご協力のもと、天草から朝水揚げされたばかりの鯵、コノシロ、たこ等を使った、ＰＴＡ主催の親子料理教室が開催されました。

子どもたちが、よく目にする魚は、スーパーなどでパックに入ったおろし済みの魚です。そこで、今回は、自ら魚をさばき、調理をすることになりました。まず、漁協の方から、鯵の三枚おろしを教わり、その後、親子で、挑戦しました。魚おろしは、初めての子どもがほとんどで、最初は、ぎこちない手つきで、こわごわと魚に包丁を入れていましたが、一匹、二匹とさばいていくうちに、だんだん上手になり、お家の方より、腕前を上げていきました。「将来は腕利き板前さんかも、そのときはよろしくお願いします。」そんな親子の会話も聞こえてきました。

三枚におろした鯵。切り身は衣を付けてあじフライに、骨は素揚げにして骨せんべいにしました。また、鯵の南蛮漬け、鯵の骨頭をだしに味噌汁も作りました。とてもおいしい鯵料理ができあがりました。

「食べることは、命をいただくこと」このことを子どもたちに伝えたい思いから、今回は生きたままのたこを持ってきていただきました。時間が無く、料理教室では、調理することができず、各家庭に持ち帰っていただくことになりましたが、親子一緒に調理し、食事をしながら、命と食について話題にしていただければと思います。

＜一人一人が分かる授業をめざして＞

子どもの視点から

子どもたちに、どのような問いかけをしたら、質問の意味がよく分かり、よく考え、考えたことをお互いに発表し合えるようになるのか。また、活発な意見交流ができ、学び合いが深まるためにはどうすべきかを、子どもの視点から確かめる、模擬授業を行いました。

「先生の発問や友だちの発表内容が、十分理解できていないのに、そのままにしていることが多いのでは。」「本当に分かっているかどうかの確認、評価をもっと丁寧に行う必要があるのでは。」などの意見が出ました。また、先生や友だちの言っていることがよく分からない時は、聞き返すこと、聞き返す力がもっと必要ではないか等の意見も出ました。

子どもの視点から授業を見直すことの大切さを再確認できました。

模擬授業後は、実際に子どもたちの前で研究授業をおこない、授業が改善されたかどうかを検証し、日々の授業へとつなげているところです。

学校訪問ありがとうございました

九月十八日は、球磨教育事務所、二十七日は、五木村教育委員会による学校訪問があり、本校の子どもたちの学習、生活の様子を観ていただきました。

「あいさつがよくできている。」「温かい雰囲気の中で、子どもたちが生き生きとしている。」「きめ細かな授業が行われている。」「児童相互の学び合いの活動をさらに取り入れてほしい。」「アナログとデジタルの効果的な使い分けを行う。」「複式学級での効果的な学習法についての研究をさらに深めてほしい。」等、多くの貴重なご意見、感想をいただきました。

今回の訪問で、教えていただいたことを校内研修等で、全職員で再確認し、これからの教育活動に生かしていきたいと思います。

めざせ東京オリンピック

本校児童が苦手とする短距離走を克服するために、児童会保健体育委員会で五〇ｍ走のタイムトライアルの取組を始めました。

まずは、全国平均記録を上回ることを目標に、月二回の計測を自分たちで行います。計測の度に記録が伸びるように、「めざせ東京オリンピック」と題して毎朝のランニングに力を入れていきます。